

# 真誠

学校だより  
No.9

西東京市立  
田無小学校

令和2年  
1月8日

あけましておめでとうございます

校長 小林 宏

本年も、よろしくお願いいたします。

本日、冬季休業日を終え、三学期を迎えた子供たちと、新年がスタートしました。

さて、昨年は、日本漢字能力検定協会による毎年の世相を一字で表す「今年の漢字」が『令』に決まったように、元号が改元となるなど、時代の大きな変化がありました。



平成31年4月



令和元年12月

初めて迎える新年であり、今年の干支は、『子』です。「漢書 律曆志」(中国の歴史書)により「子」は「増える」を意味する「孳(し)」で、植物が子孫を増やそうと成長し始める種子の状態を表すと解釈されています。また、『子』は、十二支の中で一番目に数えられ、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。

東京2020オリンピック・パラリンピックという大きな大きな催しを、令和二年は、学校教育でも、新しい学習指導要領が実施される大きな節目

になる年です。さらに、田無小学校は、左上の校舎の写真の変遷のとおり、今年の夏季休業日中に第二期大規模改修工事を予定しています。

百四十七年目を迎える本校の歴史と伝統を大切にしつつ、改修工事によって新しく生まれ変わる校舎とともに、全教職員が努力してまいります。保護者・地域の皆様方におかれましても、本年も温かいご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

■「協力に感謝いたします」■  
昨年の学校公開・学校行事等では、上履き持参や自転車での来校禁止について、ご理解・ご協力をいただきました。今年も、引き続き、ご協力をお願いいたします。

令和2年9月(第2期大規模改修工事終了後)

い…いじめ防止対策委員会  
盧…児童虐待防止校内委員会

一月の主な行事予定	
8 水	始業式 給食始 午前授業
9 木	音楽集会 計測(1)
10 金	水曜時程・五時間授業 計測(6)
13 月	成人の日
14 火	児童朝会 委員会 計測(3) 五時間授業(三年以上)
15 水	はつらつタイム 計測(4)
16 木	児童集会 避難訓練(不審者対応) 計測(5)
17 金	校内書初展始 計測(わ)
18 土	学校公開土曜時程 認知症(6) 道徳地区公開教室(3)
20 月	児童朝会 クラブ 計測(2) 小金井公園(わ) クラブ見学(3)
23 木	児童集会 特別時程・午前授業
24 金	社会科学見学(3)
27 月	児童朝会 短なわキャンペーン始
28 火	そり遊び(わ)
30 木	音楽集会

※今月のスクールカウンセラー来校日は9日、16日、30日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

## 子供たちのあゆみ

わかば学級 渡邊 真南

わかば学級では、十二月十三日(金)に、今学期の学習のまとめとして、全学年でお楽しみ会を行いました。六年生を中心に会の内容を考え、各学年で役割を分担しました。一年生と二年生は会場の装飾作り、三年生と四年生は会場用と配布用のプログラム作り、五年生はゲームの企画と進行、六年生は全体の司会進行を担当しました。それぞれの学年の準備は、前日まで協力して取り組む熱心な姿が見られました。

音楽会で取り組んだ「ソーラン節(ロック風)」の合奏や、リズムの学習で行っているダンスなどの発表も行いました。保護者の方にも参観していただき、子供たち自身が互いに二期のあゆみを認め合うことのできる素敵な会となりました。この学びに自信をもって、今学期も学習や行事に取り組んでいきたいと思えます。

## 書き初め

高見 真弓

日本の伝統や文化には、さまざまなよさがあります。無形文化遺産にもなっている和食は、日本の誇りです。「書き初め」も日本ならではのものです。最近では、個人で行うことも少なくなりましたが、「書写」の時間の中で、「日本の伝統行事にふれる」「児童の個性や特有の伸張を図る」「文字への関心や文字感覚を育てる」ことをねらい、一月に書き初めを行います。お手本を見て書くことが基本となりますが、練習をしていくうちに、自分の思いや自分らしさが、文字に表れてくるおもしろさが書き初めにはあります。練習から本番まで集中を切らさずに取り組むこと、書いたあとの満足感、日本のよさを感じられるように、指導していきます。(一、二年生は硬筆に取り組みます。)

校内の書き初め展は、一月十七日(金)から二月一日(土)までです。各教室廊下に掲示します。一人一人の思いが詰まった作品をぜひご覧ください。

## 図工室の風景

図工専科 阿部 満理子

二期は様々な学校行事がありました。図工の授業では、行事に關した題材を取り入れ、児童が学び、体験したことを表現できるようにしています。

例えば、十一月の音楽会では、四・五・六年生が本番で歌う曲から発想を広げ、版画の制作を行いました。音楽の学習で積み重ねてきたことを振り返りながら、さらにそれを深めて歌詞や旋律から発想を広げて図案を考えることができました。三年生の授業では、課題曲から連想し、宇宙船をテーマに木工作品を作りました。初めてノコギリを使った題材でしたが、曲への思いや木への関心から、意欲的に取り組む姿が多く見られました。

自分の思いと向き合い表現することは、大人でも難しいことです。ご家庭でも作品を通して、児童の豊かな思いに触れていただければと思います。

## 食育と落語の融合

栄養教諭 根本 紀子

いつでもどこでも容易に口にするものが手に入る時代。手軽なものになっている「食」について、もっと興味関心をもつために、十二月十四日(土)の食育講演会の企画をしました。今回は、日本の伝統文化である「和食」と「落語」の融合をテーマにしました。学生落語家さんが演じる食べ物を題材にした落語を楽しみながら、食の大切さや日本の伝統文化の尊さを学びました。題材とした噺は、落語の代表的なもので一度は聞いておくとうい噺でした。子供たちは、題材となった食べ物を食べたくなった様子でした。同日の三校時の食育授業の学習とあわせ、食について今一度見直すきっかけとなりました。子供の食事を考えるとき、何を食べるのかだけではなく、どのように食べるかを考えることも大切です。ご家庭でも生涯の健康のために、食について考える時間をもつていただけたら幸いです。